

東海市の玄関口にふさわしいまちづくり ～太田川駅周辺地区～

東海市の概要

東海市は知多半島の西北端に位置し、名古屋市の中心部まで約20km圏内であり、伊勢湾に面した本市の西部は愛知県の主要な工業地帯である名古屋南部臨海工業地帯の一角を形成する人口11万4千人の都市です。

東洋経済新報社が発表している「住みよさランキング2016」で東海市は、全国で19位、愛知県内では2位となっています。

地区の概要

太田川駅周辺地区は、都市拠点として位置づけられており、市の玄関口にふさわしいまちづくりを進めてきた地区です。

地区内にある太田川駅は、名古屋駅や中部国際空港まで約20分という位置にあり、名鉄常滑線と名鉄河和線の分岐点となっており、地区としても、交通利便性の非常に高い地区となっています。



太田川駅周辺のまちづくり

日本福祉大学



ラスパ太田川



ユウナル東海



ソラト太田川



太田川駅



イベント広場



イベント内容



20年後のまちの姿



太田川駅周辺地区は、これまで都市機能の集積やにぎわいの創出といった市の玄関口にふさわしいまちづくりをすすめてきました。

しかし、さらなる交通利便性の向上などを勘案し、20年後のまちの姿を考えると、住民の意見を踏まえ、太田川駅周辺地区に残る未利用地をどうしていくかがとても重要な課題となります。

個人的な意見になりますが、未利用地を広域的な交流拠点（テーマパーク、大規模商業施設、スポーツ施設、体験施設、娯楽施設 etc...）として整備することで、今以上に、市の玄関口にふさわしい、にぎわいあふれる持続可能なまちの形成に繋がると考えます。